

## <2012 年度事業報告>

### I. 事業の概要

公益社団法人日本ガスタービン学会は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律により認定された公益目的事業（事業番号：公1）「ガスタービン及びエネルギー関連技術の発展とその普及・振興を目的とする事業」を行う。2012年度（2012年3月1日～2013年2月28日）は下記を実施した。

#### (1) 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第4条1号）

時期	場所	名称	内容	参加者数	演題数
2012/4/20	三菱重工横浜ビル	創立40周年記念講演	「航空エンジンの展望」 「産業用ガスタービンの展望」	110名	2
2012/7/5-6	(株)IHI 昭島事業所、瑞穂工場	第21回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育(講義および施設見学)	72名	7
2012/7/13	東京ガス(株)扇島工場、川崎市かわさきエコ暮らし未来館	第1回見学会	設備見学	30名	—
2012/9/13-14	川崎重工業(株)明石工場研修センター	第22回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育(講義および施設見学)	90名	7
2012/10/2	東京理科大学	2012年度シンポジウム	「先進ガスタービンシステムの技術開発状況」	64名	4
2012/10/2	東京理科大学	調査研究委員会報告会	「東日本大震災におけるガスタービン設備の信頼性の調査研究結果報告」	64名	1
2012/10/16	釧路工業高等専門学校	ガスタービン市民フォーラム	「空飛ぶガスタービン—より環境に優しいジェット機の実現にむけて」	46名	1
2012/10/17-19	釧路市観光国際交流センター	第40回日本ガスタービン学会定期講演会・見学会	会員の研究・開発成果の発表, 定期講演会講演論文集発行(150部)	123名	72
2013/1/24-25	三菱重工横浜ビル	第41回ガスタービンセミナー	「ガスタービンの最新技術とCO2削減を目指した技術動向・展望」, セミナー資料集発行(180部)	117名	13
2013/2/26	京都市廃食用油燃料化施設(京都市南部クリーンセンター)	第2回見学会・技術懇談会	設備見学・講演	14名	1

#### (2) 学会誌及び学術書の刊行（定款第4条2号）

図書名	発行年月日	発行部数
日本ガスタービン学会誌	2012/3/20, 5/20, 7/20, 9/20, 11/20, 2013/1/20	2,300
International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems	掲載中	Web掲載

#### (3) 内外関連学協会との連携並びに協力（定款第4条3号）

2012年度に継続して共催・協賛した行事は44件であり、新規のものは下記の4件である。

種類	開催時期	名 称	場 所	関連団体名
協賛	2012/04/15-18	第 13 回世界精密鑄造会議 (The 13th World Conference on Investment Casting : WCIC)	京都国際会館	日本鑄造協会
協賛	2012/05/15-16	10th International Conference on Turbochargers and Turbocharging	IET Savoy Place, London, UK	Institution of Mechanical Engineers
協賛	2012/09/11-14	The 13th International Symposium on Unsteady Aerodynamics, Aeroacoustics and Aeroelasticity of Turbomachines (ISUAAAT13)	東京大学農学部弥生講堂	ISUAAAT
協賛	2012/10/30	平成 24 年度先進超々臨界圧火力発電技術開発講演会-A-U-S-C 要素技術開発 (実証機の早期実現を目指して)	発明会館ホール	火力原子力発電技術協会

(4) ガスタービンに関する研究, 調査 (定款第 4 条 4 号)

名 称	実施期間	調査内容
「国産ガスタービン・過給機生産統計 (2014 年版)」の資料収集	毎年度継続して実施中	我国におけるガスタービン及び過給機の生産に関する資料を収集し、纏めると共に、結果を学会誌に掲載した。
ガスタービンを考える会	毎年度継続して実施中	産業用および航空用ガスタービン技術の方向性や戦略について調査検討し、学会版技術ロードマップの改訂、プロジェクト案の策定、その実現方策の検討などを行った。
調査研究委員会	2011 年度～2012 年度	東日本大震災におけるガスタービン関連施設の被害状況、復旧状況、非常用設備の稼働状況などを調査し、今後の震災に備えた課題と改善提言を行う活動を行った。
産官学連携委員会	2011 年度～(2009 年度設置した産官学連携懇談会を継承)	技術開発における産官学連携の現状や課題を調査し、有機的連携実現の方策を検討した。また、ガスタービンを考える会のプロジェクト案を実現させるプロセスを検討した。

(5) 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第 4 条 5 号)

ガスタービンに関連した研究及び技術開発を奨励するため、2 年に一度、優れた研究、技術に対して、ガスタービン学会賞 (論文賞、技術賞、奨励賞) を授与している。2012 年度は、学会賞審査の年度にあたらなため審査を行なわなかった。また、若手人材育成のため、第 40 回日本ガスタービン学会定期講演会において講演発表する学生の交通費の一部助成を実施するとともに、優れた研究発表を行った学生を表彰 (日本ガスタービン学会学生優秀講演賞) した。

## II. 運営組織の概要

### 1. 役員・会員・職員

#### (1) 役員 (理事, 監事)

役 名	氏 名	常勤・非常勤	就任年月日	手当	担当業務	所 属
会 長 代表理事	佃 嘉章	非常勤	2011/4/12	なし	業務の総括	三菱重工業(株)
副会長 代表理事	坂田 公夫	非常勤	2012/4/20	なし	業務の総括	(独)宇宙航空研究開発機構
執行理事	渡辺 紀徳	非常勤	2011/4/12	なし	法人管理 総務	東京大学
執行理事	幸田 栄一	非常勤	2011/4/12	なし	法人管理 企画	(一財)電力中央研究所
執行理事	山脇 栄道	非常勤	2012/4/20	なし	法人管理 財務	(株) I H I

執行理事	六山 亮昌	非常勤	2011/4/12	なし	法人管理 ガバナンス コンプライアンス	三菱重工業(株)
執行理事	加藤 泰弘	非常勤	2011/4/12	なし	公1 (1) 集会行事	(株)日立製作所
執行理事	二村 尚夫	非常勤	2011/4/12	なし	公1 (1) 集会行事	(独)宇宙航空研究開発機構
執行理事	古谷 博秀	非常勤	2012/4/20	なし	公1 (1) 集会行事	(独)産業技術総合研究所
執行理事	山根 秀公	非常勤	2011/4/12	なし	公1 (1) 技術普及	防衛省
執行理事	畔津 昭彦	非常勤	2012/4/20	なし	公1 (1) 国際会議	東海大学
執行理事	村田 章	非常勤	2012/4/20	なし	公1 (2) 広報	東京農工大学
執行理事	永井 勝史	非常勤	2011/4/12	なし	公1 (2) 調査	川崎重工業(株)
執行理事	船崎 健一	非常勤	2011/4/12	なし	公1 (2) 学会誌	岩手大学
執行理事	太田 有	非常勤	2012/4/20	なし	公1 (3) 表彰 公1 (1) 学術講演会	早稲田大学
理事	宮原 忠人	非常勤	2011/4/12	なし	公1 (2)	(株)エネルギーアドバンス
理事	新関 良樹	非常勤	2012/4/20	なし	公1 (2)	(株)東芝
理事	寺本 進	非常勤	2012/4/20	なし	公1 (2)	東京大学
理事	田沼 唯士	非常勤	2012/4/20	なし	公1 (2)	帝京大学
理事	高西 一光	非常勤	2012/4/20	なし	公1 (2)	関西電力(株)
監事	吉田 豊明	非常勤	2011/4/12	なし	業務監査	(独)宇宙航空研究開発機構
監事	本阿弥眞治	非常勤	2011/4/12	なし	業務監査	東京理科大学

(2) 会員

会員種別	会 員 数		増減数
	本年度末 2013年2月28日現在	昨年度末 2012年2月29日現在	
正会員	1,968名	1,958名	10名
学生会員	88名	66名	22名
名誉会員	53名	51名	2名
終身会員	33名	35名	△2名
賛助会員	101社(137口)	105社(143口)	△4社(△6口)

\*増減数には、定款第11条第1項及び3項による「資格喪失者」11名減を含む。





2013/2/7	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 国際会議開催資金計画変更の件 4) 名誉会員・終身会員候補者原案の件 5) 2013 年度理事・監事候補者 (案) 6) 2013 年度事業計画案 7) 2013 年度正味財産増減予算案 8) 調査研究委員会の設置について 9) 集会行事の開催に関する内規 (案) 10) 論文委員会運営について  11) 事務局常勤専任職員の昇給額について 12) 事務局長 (囑託) 契約更新の件 13) 日本工学会功労賞候補者推薦の件 14) 他学協会からの共催・協賛行事の件 15) 集会行事委員会報告 16) IGTC15 準備委員会報告 17) 総会、アドバイザー委員会準備 18) 2012 年度第 7 回理事会議事録確認	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 継続審議 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認/一部継続 審議 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 了承 全会一致で承認
2013/2/18 メール審議	1) 「記念事業開催資金計画」の変更について 2) 2013 年度正味財産増減予算書の変更について	全会一致で承認 全会一致で承認

(2) 総会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2012/4/20	公益社団法人 日本ガスタービン学会 2011 年度通常総会 第 1 号議案: 計算書類および財産目録の件 第 2 号議案: 理事選任の件 第 3 号議案: 定款一部変更の件  第 4 号議案: 名誉会員候補者の件 第 5 号議案: 終身会員候補者の件	賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成 3 分の 2 以上の多数 により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認

3. 各委員会の活動

(1) 倫理規定委員会

委員長 加藤 泰弘 他 8 名 開催 1 回 (E-mail 会議 1 回)

倫理規定委員会運営要領案につきメール会議で審議した。

(2) 自己点検委員会

委員長 六山 亮昌 他 8 名 開催 0 回

企画委員会にて自己点検委員会の活動内容を事前検討し、2012 年度第 4 回理事会にて本委員会の委員構成と 2012 年度自己点検委員会の進め方が了承された。2012 年度は一部の行事につきその行事が公益社団法人として適正であることの確認を開始した。次年度よりこの確認作業の本運用を開始する予定。

(3) 運営委員会

委員長 渡辺 紀徳 他 10 名 開催 7 回

庶務、会計、渉外、その他学会運営に関する事項を担当した。

(4) 企画委員会

委員長 幸田 栄一 他 5 名 開催 1 回

前期に引き続き規定類の整備に努めるとともに、内部管理体制について検討し、倫理規定委員会と自己点検委員会の設置形態、活動内容、構成を具体的に決め、これらの委員会の設置について運営委員会、理事会に諮り承認された。

(5) 国際委員会

委員長 中村 良也                      他 13名                      開催 4回

コペンハーゲンで開催された ASME Turbo Expo 2012 の会期中に IAC 会議を開催した。また 8月に上海で開催された第 3回 ACGT において、共催団体として日本側実行委員会を組織し会議運営を支援した。IGTC2015 に関しては準備体制／メンバーの原案を纏め、理事会承認後、準備委員会が設立された。IAC メンバーについて見直しを進め、後任・新規計 5名の候補者を選定した。

(6) 学術講演会委員会

委員長 山本 武                      他 11名                      開催 3回

第 40 回日本ガスタービン学会定期講演会を釧路市観光国際交流センターで開催し、見学会（釧路コールマイン(株)、旧太平洋炭礦炭鉱展示館、日本製紙(株)等）を実施した。また、市民フォーラムを釧路工業高等専門学校にて開催した。

(7) 集会行事委員会

委員長 二村 尚夫                      他 17名                      開催 6回

若手技術者、研究者を対象に 2 日間の第 21 回教育シンポジウム(IHI 昭島事業所、瑞穂工場)、22 回教育シンポジウム(川崎重工明石工場)、一般向けの見学会として川崎市の東京ガス(株)扇島工場および会員向けの見学会として、京都市の京都市廃食用油燃料化施設の半日の見学会を各 1 回、九段の東京理科大学で「先進ガスタービンシステムの技術開発状況」と題して半日のシンポジウム、三菱重工横浜ビルにおいて「ガスタービン最新技術と CO2 削減を目指した技術動向・展望」に関する第 41 回ガスタービンセミナー(2 日間)等の企画・実施を担当した。

(8) ガスタービン技術普及委員会

委員長 山根 秀公                      他 13名                      開催 6回

ガスタービン教科書「ガスタービン工学」の刊行に向けて、編集・発行に関する諸事項（執筆依頼・校正、査読、著作権処理、原稿データ管理、発注、広報等の業務や規則整備）を担当するとともに、ガスタービン技術普及策の検討を継続した。

(9) 学会誌編集委員会

委員長 船崎 健一                      他 24名                      開催 6回

学会誌の編集に関する事項（特集記事の企画・執筆依頼・校正、技術論文の査読等の諸業務や規則の改定等）を担当した。特に、学会創立 40 周年を記念した特集号や、女性技術者にスポットを当てた特集など、読者の関心の高い企画に基づく特色ある特集号を編纂し、会員へのサービス向上にも努めた。また、技術論文等の校閲を担当する新たな委員会設置を検討し、論文委員会として新年度立ち上げる作業にも関わるとともに、技術論文査読システムの刷新にも着手し、論文委員会への橋渡しの作業も行った。

(10) 英文論文集編集委員会

委員長 渡辺 紀徳                      他 13名                      開催 2回

電子版英文論文集 International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems (略称 JGPP) の論文募集・校閲・編集・発行を行った。

(11) ガスタービン統計作成委員会

委員長 永井 勝史                      他 8名                      開催 4回 (E-mail 会議 3回)

2011 年の国産ガスタービン及び過給機生産に関する統計資料をまとめ、学会誌 Vol. 40 No. 4 に掲載した。

(12) 産官学連携委員会

委員長 渡辺 紀徳                      他 15名                      開催 2回

ガスタービン・ジェットエンジンに関する研究開発プログラムの具体化方策について検討を行った。また、ガスタービンを考える会を傘下のワーキンググループとして位置付け、この会で作成しているプログラム案

を実現させる方策について審議・助言を行った。さらに調査研究委員会の設置案を作成した。

(13) 広報委員会

委員長 杉本 隆雄                      他 7 名                      開催 8 回 (E-mail 会議 6 回)

当学会ホームページの充実を図るために、その掲載内容を追加修正した。主な内容として、英文サイトの構成・内容の一新、行事案内への「年間行事予定表」の追加と申込受付メールの内容充実、学会誌バックナンバーの全文掲載(会員向け)などを行った。また担当委員会の要請に基づき、原稿執筆要領の改訂、入会案内の改訂(会費)などを行った。

(14) 表彰委員会

委員長 坂田 公夫                      他 6 名                      開催 9 回 (E-mail 会議 7 回)

学術講演会委員会と協力して、定期講演会で講演発表する学生の交通費の一部助成を実施し、さらに同委員会と協力の下、学生優秀講演賞の選定と表彰を行った。また、表彰事業に関する規程類(学会賞規程、功労賞規程、学生優秀講演表彰に関する内規、学術講演会発表助成に関する内規、表彰委員会運営要領)に関する見直しを行った。

(15) 次年度役員候補者等推薦委員会

委員長 坂田 公夫                      他 4 名                      開催 2 回

平成 25 年度に交代する理事ならびに各委員会委員長の候補者の人選を進め、理事会へ推薦を行った。

(16) 名誉会員選考委員会

委員長 佃 嘉章                      他 6 名                      開催 1 回

規程に従って名誉会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(17) 終身会員候補者選考委員会

委員長 佃 嘉章                      他 4 名                      開催 1 回

規程に従って終身会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(18) 財政健全化委員会

委員長 坂田 公夫                      他 5 名                      開催 3 回

学会の基礎経理における経常的赤字構造を解消し、公益法人としての学会活動の発展を図るため、財務を詳細に解析把握し、他学会例の調査を行うなど、財政健全化の方策を検討してきた。その結果、65歳以上のシニア層と学生の年会費を据え置いた上で、2013年度からの個人会費の値上げを理事会に具申した。

(19) 創立 40 周年記念事業実行委員会

委員長 筒井 康賢                      他 7 名                      開催 1 回

創立 40 周年記念事業について準備を行い、2012 年 4 月 20 日の総会終了後に記念式典、記念講演会、祝賀パーティーを開催した。

(20) ACGT2012 実行委員会

委員長 山根 敬                      他 5 名                      開催 2 回 (国際委員会と同時開催)

2012 年 8 月に上海で開催された ACGT2012 に向けて、日本からのキーノート講演者、フォーラム講演者、セッション司会者の依頼等を通じて開催国中国の実行委員会への支援を行った。また報告記事を学会誌 11 月号に掲載した。

(21) 2011 年国際ガスタービン会議大阪大会組織委員会

委員長 吉識 晴夫                      他 6 7 名                      開催 1 回

2011 年国際ガスタービン会議大阪大会および見学会の企画・準備・運営について、2011 年国際ガスタービン



会議大阪大会実行委員会を支援するため、組織委員会の事業を実施してきた。本年度は書面による報告を実施して事業を完了した。

(22) 2011年国際ガスタービン会議大阪大会実行委員会

委員長 武石 賢一郎                      他83名                      開催1回

2011年国際ガスタービン会議大阪大会は、2011年11月13日～17日に大阪国際会議場で国際会議・展示会を開催した。また11月18日には見学会を開催した。本年度は、「2011年国際ガスタービン会議大阪大会報告書」(和文)および英文報告「International Gas Turbine Congress 2011 Osaka」(HP版)を作成し、関係者への報告をもって事業を完了した。

(23) 2015年国際ガスタービン会議準備委員会

委員長 渡辺 紀徳                      他5名                      開催3回

国際ガスタービン会議IGTC2015の開催準備を開始し、会期と会場、準備スケジュールなどを検討した。

(24) 調査研究委員会

委員長 濱 純                      他7名                      開催2回

2011年9月から2012年5月まで計5回の委員会を開催して、アンケートをはじめ各種のデータや資料提供、データ集計・分析など様々な方々の協力、支援を受けて報告書を取り纏め、8月の理事会に報告した。本事業では、1)東日本大震災におけるガスタービン発電施設、生産設備等の被災状況、震災後の稼働状況、ならびに復旧状況の全体概要を明らかにし、2)震災後の非常用設備としてのガスタービンの稼働状況を明らかにし、3)ガスタービン関連施設等における震災に対する課題抽出と提言を行った。さらに会員の貴重な経験も報告書に掲載して、学会ホームページ上で公開した。また、調査結果について国内で報告会を2回行い、海外ではACGT2012(上海)の基調講演を行って、会誌に活動報告を掲載して事業を完了した。

(25) 情報システム化推進委員会

委員長 村田 章                      他5名                      開催1回 (E-mail会議1回)

委員を選出し、委員会を発足させ、今後の情報システム化に必要な基礎情報収集を行った。